

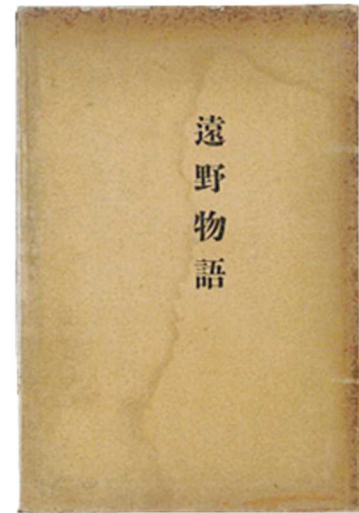
うぶすな

福崎町立博物館報

うぶすなとは「生まれた土地(故郷)」
という意味の言葉です。
井上通泰と柳田國男が幼いころを過ごした鈴ノ森神社のヤマモモの木を詠んだ歌も、この言葉からはじまっています。



第14号



『遠野物語』は、岩手県遠野地方出身の文学者佐々木喜善が語った地元の伝承を、柳田國男が増補・編集した説話集です。
「柳田國男初期三部作」のひとつで、日本の民俗学のきっかけと称される名著であり、同地に伝わっていた様々な伝承の貴重な証言集として、明治43年(1910)の初版発行以来、多くの人に読み継がれてきました。
初版は全部で350冊が発行され、一冊ごとに番号が振られており、第200号までは國男の知人に配られました。記念館には、國男の三兄・井上通泰に贈られ、通泰の蔵書集「南天荘文庫」の一冊として福崎で保存されていた第39号が寄託されています。
新蔵資料は第227号で、國男から誰かに贈られたものではありませんが、現代に残された大変貴重な一冊です。

新蔵資料紹介

「遠野物語」初版第227号

- ◇記念館の催し◇
- ◇令和7年度松岡映丘画稿展
- ◇第46回山桃忌
- ◇第12回柳田國男検定
- ◇初級編/中級編/上級編
- ◇柳田國男生誕一五〇年記念展
- ◇第13回福崎町柳田國男ふるさと賞
- ◇伊勢大神楽
- ◇岩田健三郎さんの版画教室
- ◆歴史の催し◆
- ◆令和7年度 第一回企画展
- ◆令和7年度 連続講座
- ◆令和7年度 第二回企画展

うぶすな 第14号

令和7年3月18日発行

福崎町立柳田國男・松岡家記念館
福崎町立神崎郡歴史民俗資料館

〒679-2204
兵庫県神崎郡福崎町西田原

1038-12

0790-2211000(記念館)
0790-2215699(歴史)

◆休館日

月曜日(祝日は開館)

祝日の翌日(土・日は開館)

12月28日～1月4日

◆開館時間

午前9時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)



福崎町立
神崎郡歴史民俗資料館
Kanzaki County Museum of History and Folklore established by Fukusaki Town



令和6年度の催し報告

春季企画展「教科書展-地理編-」

当館には、町内の方々から寄贈された教科書が多数収蔵されています。本展では、その中から「地理」の教科書を取り上げました。日本地理・外国地理のそれぞれの角度から、明治初期から戦前にかけての地理教科書の特徴を挿絵とともに紹介しました。また、教科書に掲載された地震や防災についても取り上げ、大正12年(1923)に発生した関東大震災時の福崎の支援に関する資料をあわせて展示しました。



地理教科書にある漢字表記の国名クイズに挑戦!「葡萄牙」「瑞典」...



文部省発行の最初の地理教科書三部作を一宮ご紹介。『地理初歩』『日本地誌略』『万国地誌略』

4/20(土)～5/31(金)



特別展「福崎の交通変遷」

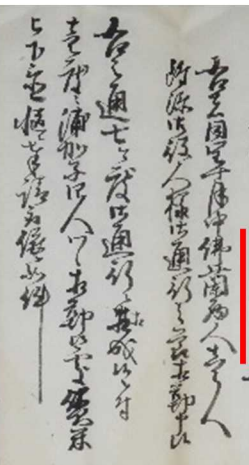
本展では、地域の発展や歴史と緊密である「交通」を通して、古くから往来が盛んな交通の要衝であった福崎の歴史を振り返りました。展示では、街道、舟、橋梁、鉄道、人力車、乗合馬車、バス、高速道路といった交通機関を取り上げ、新たに発見された資料を中心に紹介しました。



フランス人も利用した渡し舟

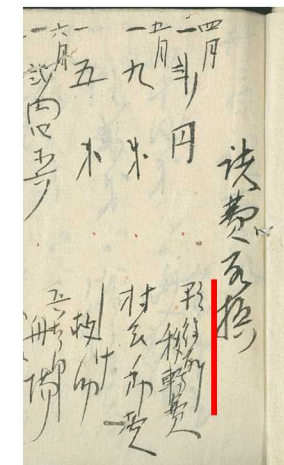
図録販売中
1冊300円

渡し舟収益の用途



フランス人渡舟につき賃米請取報告 部分(明治3年)

福崎新-西野間の渡し舟をフランス人が利用していたことを示す資料です。明治2年(1869)12月から翌年閏10月までに「異人」や「仏蘭西人」が7度通行していたことを読み取ることができます。明治元年に日本初の官営鉱山となった生野鉱山の開発にもなって招かれたフランス人技師ら関係者と思われる。



舟に係る計算帳 部分(明治19年)

計算帳などの記載から渡し舟で得たお金は、舟道具などの費用にあてられたほか、「七種川堤防費」「天神社玉垣代」等の立替にあてられていたことがわかります。明治19年4月には「郡役所移転費」の立替にも使用されました。郡役所は、同年1月に辻川村に移転・開庁し、新庁舎は7月に竣工しました。

10/19(土)～12/8(日)





福崎町立

柳田國男・松岡家記念館 柳田國男生家

Kunio Yanagita and the Matsuoka Family Memorial Museum established by Fukusaki Town

兵庫県指定文化財



令和6年度の催し報告

柳田國男の旅 ～秋風帖・雪国の春・海南小記～ 10月5日(土)～12月8日(日)



パンフレットは200円で販売中！

福崎町出身で、文化勲章受章者の柳田國男は、大正8年(1919)に貴族院書記官長を退き、翌年から朝日新聞社の客員として、全国を調査するための旅路につきました。『秋風帖』『雪国の春』『海南小記』など、後の日本民俗学開創への転機となった紀行文は、この頃に発表されたものです。

本展では、柳田國男の著作の中から、旅の経験を記した代表的な三作の紀行文を取り上げ、民俗学への転換点となった大正9年から10年の「柳田國男の旅」を読み解きました。



『秋風帖』



『雪国の春』



『海南小記』

企画展講演会(11/16)

企画展の開催に伴い、今年も東京学芸大学名誉教授で、記念館顧問の石井正己先生に「旅する柳田國男—ジャーナリストの視点—」と題してご講演をいただきました。



松岡映丘画稿展(4/6～6/2)

毎春恒例の画稿展では、「中世日本のお話」と題して、『平家物語』や『太平記』などの、中世日本の物語等を題材に描かれた作品を展示しました。

左《右大臣実朝》
右《児島高徳》



山桃忌(8/3～8/4)



「柳田國男の旅」をテーマに、8月3日(土)、4日(日)にエルデホールで開催されました。4日には「沖縄芝居」「沖縄エイサー」「琉球舞踊」が披露されました。

柳田國男検定(8/4)

文化センターで開催し、33名の方に挑戦いただきました。表彰式は9月1日(日)に行いました。



最高得点賞	【初級編】	中井 あけみ さん
	【中級編】	木村 霞 さん
	【上級編】	中井 武司 さん
奨励賞	【初級編】	梶師 茱白 さん

第12回柳田國男ふるさと賞

本年度の福崎町柳田國男ふるさと賞では、下記の3名が受賞しました。

- ⇒小学校低学年の部 八千種小4年 岩城 旭飛 さん
- ⇒小学校高学年の部 福崎小6年 志水 栄 さん
- ⇒中学校の部 東中 1年 井藤 千都 さん

優秀作品は、11月2日(土)から11月24日(日)まで記念館、11月30日(土)から12月22日(日)まで図書館メディアルームで展示しました。皆様のご応募ありがとうございました。

日本民俗学会 研究奨励賞授与式



10月26日(土)に開催された日本民俗学会で、関西学院大学 社会学部 特別任用助教の三隅貴史さんへ授与されました。

伊勢大神楽公演(11/9)

今年も国指定重要無形文化財の伊勢大神楽が福崎へやってきました。165名の方にご来場いただきました。



版画教室(12/1)

神崎郡歴史民俗資料館で版画教室を開催しました。姫路の版画家の岩田健三郎さんにご指導をいただきました。

